

チャノキイロアザミウマ情報第2号

平成24年6月4日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生の状況

防風用に栽植されているイヌマキの新梢から払い落としにより、5月下旬の本種の発生量を調査したところ、カンキツでは平年に比べやや多く、ブドウでは平年並でした。

黄色粘着トラップによる本種の誘殺数は、東浦町、南知多町、蒲郡市、豊橋市のいずれにおいても平年並となっています。

JPP-NETを利用して有効積算温度から算出したチャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピーク日は、中山間部に位置する稲武を除いて5月19日から5月25日となりました。

2 発生ピーク日の予測と防除

中山間部を除いた地域における第2世代成虫の発生ピーク予測日は、6月15日から6月21日です(図)。これは昨年より1～5日早くなっています(参考)。

成虫の発生ピーク時が防除適期なので、発生の多いほ場では、下表を参考に防除しましょう。

図中の地名はアメダス地点を示す。各地の気温は6月3日までは実測値を、それ以降は、豊橋では前年の値、それ以外の地点では平年値を入れて計算。



参考 昨年の第2世代発生ピーク日

愛西：6/23	岡崎：6/22
名古屋：6/19	蒲郡：6/22
豊田：6/23	豊橋：6/22
東海：6/19	伊良湖：6/23
南知多：6/23	稲武(第1世代)：6/16

※昨年の実測値から計算

図 チャノキイロアザミウマ第2世代成虫の発生ピーク予測日 (JPP-NET)

表 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
カンキツ	モスピラン水溶剤
	アドマイヤー顆粒水和剤
	ハチハチフロアブル
ブドウ	コルト顆粒水和剤
	アドマイヤー顆粒水和剤
	コテツフロアブル
	ダントツ水溶剤
カキ	コルト顆粒水和剤
	コテツフロアブル
	モスピラン水溶剤
	ダントツ水溶剤

農薬の散布にあたっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。